

2010 年度事業報告

2011 年 6 月 3 日

《全体の活動》

① 古本回収

障がい者による中古本・CD の出張・買取事業をおこなう「有限会社ヴィ王子」との連携のもとに開始して 3 年目となる。愛恵福祉支援財団、滝野川の神召キリスト教会、聖学院大学での回収に加え、今年度は、女子聖学院での回収も始まった。さらに駒込での回収が広がる手ごたえもある。

《埼玉支部報告》

まちづくり協議会クローバーでの活動

① グリーンフェスタ

4 月 25 日（日）、野点とコンサートなどの「グリーンフェスタ」開催。好天に恵まれ、人出も過去最高の 1000 名ほどもあった。抹茶、煎茶の野点に加え、カフェ（コーヒーとジュースにお菓子）コーナーを新設したことや豚汁や新潟の米の販売もあり、来場者にゆっくりと楽しんでもらえる企画が奏功した。

② 「第 9 回小学生絵画展」（10 月 17 日—10 月 24 日）

今年で 9 回目となる小学生絵画展は、宮原小、別所小、日進北小、つばさ小の児童に描いてもらった。今年のテーマは、「私の好きなまち」。507 枚の絵が寄せられ、うち 200 点を「第 10 回ふれあいフェスタ in 宮原」当日まで宮原駅コンコースに展示し、多くの市民に楽しんでもらった。フェスタで表彰された優秀作品 20 枚は、その後、埼玉懸信用金庫宮原支店、武蔵野銀行宮原支店（東口と西口）、JA 宮原支店で、銀行利用者にもういちどじっくりと鑑賞してもらうように展示した。

③ 「第 10 回ふれあいフェスタ in 宮原」（10 月 24 日）

くもりがちではあったが、来場者は例年のように盛況であった。ステージカーが復活し、みこしや地元の参加者の多彩なパフォーマンスも元気いっぱい、出店の販売も大変よく売れていた。学生は、準備から当日の運営・販売まで、よく活躍した。

④ うねうね公園の美化・清掃活動（通年）

駅前開発地域のまちづくりを応援する活動として、2010 年度からスタートした。花いっぱい運動の花壇整備や、公園全体のゴミ拾いなどを「うねうね公園愛護会」のメンバーとして、隔月行っているが、今年度は、新規住民から参加者ができるようになり、手ごたえのある年となった。

⑤ タウン紙「クローバー」

タウン紙「クローバー」は、商工会とのタイアップにより、A4 裏表 4 ページのカラー版で 10,000 世帯に配布している。2010 年度は 11、12 号を発行した。

大学内の活動

—全体の活動—

① 新潟県中越地震被災地・小千谷市塩谷との交流活動

6 月 6、7 日にさいたま北商工協同組合の会員 5 名とともに、小千谷市塩谷を訪問した。山菜採り体験や名産品の錦鯉飼育を見せてもらい、交流会では、今後の地元産品での交流販売について可能性を話し合った。1 月 12 日に AH 発表会を開催した。塩谷での体験談を他の学生たちに伝える良い機会であり、また今年度の雪かき合宿のちょうど良い PR になった。雪かき合宿には、OB も含め参加申し込みが

多数あった。

2月26日、27日、中越地震被災地の小千谷市塩谷（豪雪地帯）で「雪かき合宿」を行った（学生7名、OB1名、商工協5名、会員8名参加）。今年は、NPO主催とし、地域住民やOBにも呼びかけた結果、商工協会員や大学職員からも多数参加が生まれたのは大きな成果だった。また、豪雪となった今年は、参加者は大量の雪と格闘し頑張った。夜の懇親会では、それぞれにじっくりと話ができるいい交流機会となった。

② 聖学院 T&F、好成績を重ねる

聖学院大学隣接の聖学院中学校高等学校グラウンドを本拠地とする会員アスリートのなかで、大学陸上部コーチでもある藤田奈保子さんが活動休みとなり、目だった成果は出せなかったが、コーチをした学生たちは次々と入賞して着実に成長を見せ、側面からのサポートができた。

③ 「第8回ほたる祭り」開催（6月11日、12日）

「ほたる祭り」は、飼育開始以来途切れることなく開催してきた。今年も2日間で1,000名の人が、チャペルでのイベントとホテルの鑑賞に来て下さった。ほたる募金も29,000円集まった。

④ 野菜栽培

野菜栽培は8年目となる。夏の猛暑のため、八つ頭が全滅した。大根やネギの育ちはまずまずだったが、昨年ほど取れず、売上げが落ちた。堆肥づくり・土づくりでは、継続してできている。

⑤ 同窓会ホームページ

週に1回記事を更新する契約の同窓会ホームページの「キャンパスレポート」が、6月、解約されることになった。2003年6月にスタートし、通算285号まで取材してきたが、ついに終了となった。

—学生の活動—

① 学生の自主運営体制

ホテル祭りの運営はじめ野菜栽培、その他活動での連携・協力が活発に行われた。クローバーなどの地域活動において学生は欠かせない存在となっている。

② 学生による他団体との連携

埼玉県下のNPO団体主催の報告会やイベントに参加して活動報告をした。

③ 野菜づくりとホテルの世話

年間通して多彩な作物を栽培した。

せせらぎの清掃や水量・水質の管理は、長期休暇中にはご近所の応援も得ながら行った。

④ ヴェリタス祭の取り組み

活動展示コーナーでの参加を行った。